

かすかべ 議会だより

主 な 内 容

主な議案の紹介 ……	2ページ
審議結果 ……	3～4ページ
代表質問 ……	5ページ
一般質問 ……	6～15ページ
意見交換会(議会報告会) ……	16ページ



令和8年度一般会計予算は

931億円

令和8年度 一般会計予算を可決

令和8年度の一般会計予算額は、前年度と比較して2・3億円、0・2%減となる、931億円となりました。

物価高騰の影響が長期化し、先行きを見通すことが依然として困難な状況ですが、(新)中央町第1公園の整備事業がスタートするなど、鉄道高架事業などの大規模プロジェクトも順調に進行しており、まちが劇的に変わる重要な局面でもあります。

そのため、経済的な影響を注視し、また、安定的かつ健全な財政運営を維持しながら、着実に推進できるように、第2次総合振興計画に基づき、予算編成を行ったものです。

【賛成多数で原案可決】

詳細はこちら↓



修正案

歳入歳出それぞれ4億3001万5000円を増額し、総額935億3001万5000円とするものです。

内容について、主なものとして、歳出では、国民健康保険費を3億7448万5000円増額し、18歳以下の国民健康保険税均等割を全額免除するために、国民健康保険特別会計に繰り出すものです。

歳入では、繰越金5億7568万2000円を増額、雑入1億859万8000円を増額すること、庄和地域の給食センターの給食費負担金、春日部地域の中学校の給食費負担金を減額し、給食費を完全無償とするものです。

市民負担の軽減、障がい者、高齢者、子育て支援、公共交通などを充実させ、市民サービスの向上を目指す修正です。

【賛成少数で否決】

討論

市民の健康、安全、福祉を守る地方自治体本来の役割を発揮することを願って修正案に賛成(日本共産党)

日本共産党市議団が提案した予算修正案は、市民の暮らしを応援し、少子高齢化、若い世代の人口減少という課題の解決につながるものと確信しています。

学校給食費完全無償化は、保護者、関係者のみならず多くの市民の願いです。中学校も年間を通して無償化に必要な財源は、令和8年度については1億800万円なので、十分実施が可能です。

国保税連続値上げの2年目です。あまりにも大幅な値上げで、厳しい市民生活に追い打ちをかける市政でいいのかということが問われています。こどもの均等割を免除し、子育て世帯の負担軽減と、所

得に関係なく課税される均等割を現在の水準に据え置いたために、その財源を一般会計から補填するものです。

以上のことから、原案に反対し、修正案に賛成します。

市民目線を大切にし、効果的かつ着実な事業執行を期待し、原案に賛成、修正案に反対(新政の会)

修正案にあげてある国保会計への過度の繰出金、受益者負担の原則で十数年前から使用料を徴収するようになった公民館使用料、さまざまな調査費など、執行部の方針や議会での合意形成がされていない事柄がほとんどであり、提案者の独善的と思われるような修正予算となっています。

また、歳入においても令和7年度の決算が確定していないにもかかわらず、繰越金も財源として予算編成しており、将来に向けて持続可能な財政運営とは言えず、事業の継続性に疑問を生じさせます。

原案については福祉、防災、地域コミュニティの維持、さらにはデジタル化の推進など市民生活を支える重要な施策が盛り込まれています。今後の事業執行においては、市民目線を大切にしながら、効果

的かつ着実に取り組まれることを期待し、修正案に反対し、原案に賛成します。

将来に向けて持続可能な財政運営を強く要望し、原案に賛成、修正案に反対(次世代かすかべ!)

財政面の総括として、市債繰入金が前年度比で減となっており、令和8年度予算においては安定した状態となっています。一方、財政調整基金は、前年度比増となつていますが、財政調整基金の適正水準といわれている標準財政規模の24億円からは大きく下回り、有事の際の対応については懸念されます。今後も社会保障関連経費の増や大規模事業に対する市債の償還など、ますます多くの財源が必要となってくるのが想定されま

す。従って、今後とも大規模事業を推進しつつ、財政負担の平準化を図ることにより、財政の健全性を維持し、将来に向けて持続可能な財政運営を強く要望します。

修正案は、歳入について、繰越金は決算の結果生じる予算であつて、予算編成時点において繰越金を財源とした一般財源の確保は適切なものではないと考え、反対します。

第1回(1月)臨時会 審議結果

令和8年第1回(1月)臨時会が1月27日(火)に開催されました。

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新政の会	次世代かすかべ!	公明党	日本共産党	立憲民主党	日本維新の会	無所属
議案第1号	令和7年度一般会計補正予算(第8号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和7年度水道事業会計補正予算(第2号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	専決処分の承認を求める(令和7年度一般会計補正予算(第7号)) (総務)	承認	○	○	○	○	○	○	○

3月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新政の会	次世代かすかべ!	公明党	日本共産党	立憲民主党	日本維新の会	無所属
議案第4号	公共施設マネジメント基本計画審議会条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	上下水道事業審議会条例の制定 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	公告式条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	行政手続条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	会計年度任用職員の任用及び給与その他の勤務条件に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	×	○	×	○
議案第13号	特別職の給与に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	×	○	×	○
議案第14号	水道事業管理者の給与等に関する条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	×	○	×	○
議案第15号	病院事業管理者の給与等に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	×	○
議案第16号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	手数料条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	介護保険条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	国民健康保険税条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○ ³ × ¹
議案第21号	空家等対策協議会条例等の一部改正 (建設・教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	下水道事業の設置等に関する条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	火災予防条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	学校温水プール建設工事請負契約の締結 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	大沼公園広域受援拠点施設整備工事請負契約の議決内容の一部変更 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	損害賠償の額を定める (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	市道路線の認定 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	市道路線の廃止 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	令和7年度一般会計補正予算(第9号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	令和7年度介護保険特別会計補正予算(第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新政の会	次世代 かすかべ!	公明党	日本共産党	立憲民主党	日本維新の会	無所属
議案第33号	令和7年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)(建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	令和7年度市立看護専門学校特別会計補正予算(第3号)(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	令和7年度病院事業会計補正予算(第3号)(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	令和7年度下水道事業会計補正予算(第3号)(建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	令和8年度一般会計予算(各委員会)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○ ³ × ¹
議案第38号	令和8年度国民健康保険特別会計予算(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○ ³ × ¹
議案第39号	令和8年度後期高齢者医療特別会計予算(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第40号	令和8年度介護保険特別会計予算(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第41号	令和8年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計予算(建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	令和8年度市立看護専門学校特別会計予算(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	令和8年度水道事業会計予算(建設)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第44号	令和8年度病院事業会計予算(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	令和8年度下水道事業会計予算(建設)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第46号	監査委員の選任につき同意を求める(香田 寛美 氏)(付託省略)	同意	○	○	○	○	○	○	○

諮問

(○:賛成 ×:反対)

諮問番号	諮問名 ()は付託委員会名	審議結果	新政の会	次世代 かすかべ!	公明党	日本共産党	立憲民主党	日本維新の会	無所属
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める(山崎 恵子 氏)(付託省略)	推薦に賛成	○	○	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める(小島 孝治 氏)(付託省略)	推薦に賛成	○	○	○	○	○	○	○

請願

(○:賛成 ×:反対)

請願番号	請願名 ()は付託委員会名	審議結果	新政の会	次世代 かすかべ!	公明党	日本共産党	立憲民主党	日本維新の会	無所属
請願第1号	心身障害者通所支援施設「リサイクルショップ」は現在地での存続を求めるに関する請願(厚生福祉)	不採択	×	×	×	○	×	×	×
請願第2号	小中学校給食費の完全無償化を求める請願(教育環境)	採 択	○	○	○	○	○	○	○

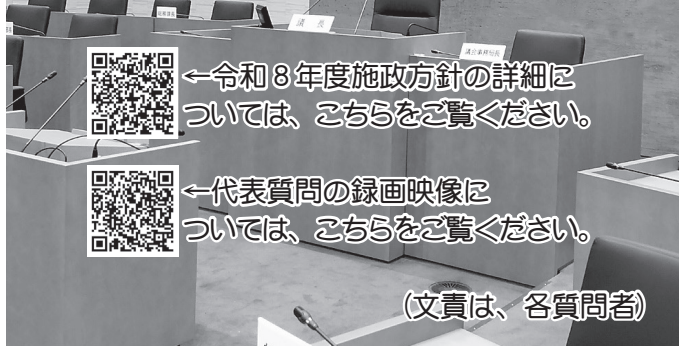
議員提出議案

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新政の会	次世代 かすかべ!	公明党	日本共産党	立憲民主党	日本維新の会	無所属
議第1号議案	市議会基本条例の一部改正(付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第2号議案	テレビ受信機能付きカーナビ搭載の公用車におけるNHK受信料の全額免除制度の創設を求める意見書(付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第3号議案	小中学校給食費の「完全無償化」を求める意見書(付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第4号議案	国民の命と健康を守るために診療報酬の抜本的な引き上げを求める意見書(付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○ ¹ - ³
議第5号議案	憲法9条の堅持を求める意見書(付託省略)	否 決	×	×	○	○	○	×	○ ¹ × ³
議第6号議案	高額療養費の自己負担限度額引き上げ撤回を求める意見書(付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○ ¹ × ³
議第7号議案	男女別学の埼玉県立高等学校において生徒の意見を尊重した方針決定を求める意見書(付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第8号議案	イランにおける戦闘の即時停止と平和的解決に向けた意見書(付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

代表質問

市長の令和8年度施政方針に対し、
各会派の代表者から質問がありました。



←令和8年度施政方針の詳細については、こちらをご覧ください。

←代表質問の録画映像については、こちらをご覧ください。

(文責は、各質問者)

新 政 の 会

岩谷市長が再選され、2期目となります。市長の公約の中で、以下お伺いします。

①(新) 中央町第1公園に市として期待することについて。②「学校規模適正化を強力に進めてまいります」とありますが、今後の展望について。

○市長

①(新) 中央町第1公園が、これから大きく変わる中心市街地の核となることで、子育て世代を中心とする、にぎわいの創出や、地域の活性化につながることを期待しています。②豊春地域では、「豊春地域学校規模適正化協議会」が設置され、地域の代表者や保護者の皆さまと学校規模適正化に関する協議を進めています。他地域においても学校規模適正化の取り組みを推進し、こどもたちにとってよりよい教育環境を整備していきます。

次 世 代 か す か べ !

施政方針において「コミュニティ」・「安心・安全」・「活力ある春日部」を3本の柱に掲げています。さまざまな課題がある中で、これら3本を柱として掲げた理由を伺います。

○市長

市長に初当選して以降、コロナ禍はさまざまな場面で社会構造に大きな変化と課題をもたらしました。これらの課題に対応するため、1点目として、地域のつながりの希薄化がもたらす孤立や、自治会などのコミュニティの衰退の解消に向け「コミュニティ」を、2点目として、大地震や激甚化する自然災害などから市民の生命、財産を守るために「安心・安全」を、3点目として、「魅力の向上により選ばれ続けるまちの実現」を図るため、「活力ある春日部」を柱に掲げたところでです。

公 明 党

本市は春日部駅付近連続立体交差事業などの大型事業が進展しており、大型事業を好機に大きく発展させていかなければならない、そのホップとしていく令和8年度だと思えます。

そこで、令和8年度当初予算での本市でのかじ取りについて伺います。

○市長

社会情勢の変化や、財政状況を踏まえつつ、全ての皆さまが安心して暮らせるまちを実現していきます。

市政運営に当たっては、「コミュニティ」、「安心・安全」、「活力ある春日部」を三本の柱とした施策を推進し、皆さまに「住んでよかった、住み続けたい」さらには「住んでみたい」と思っているだけならまちづくりを推進していきます。

日 本 共 産 党

物価高騰の中で国保税大幅値上げや上下水道料金引き上げの検討はやめるべきではありませんか。リサイクルショップの統廃合について、利用者は納得していません。利用者の理解と納得なしに進めないと表明していただきたい。

○市長

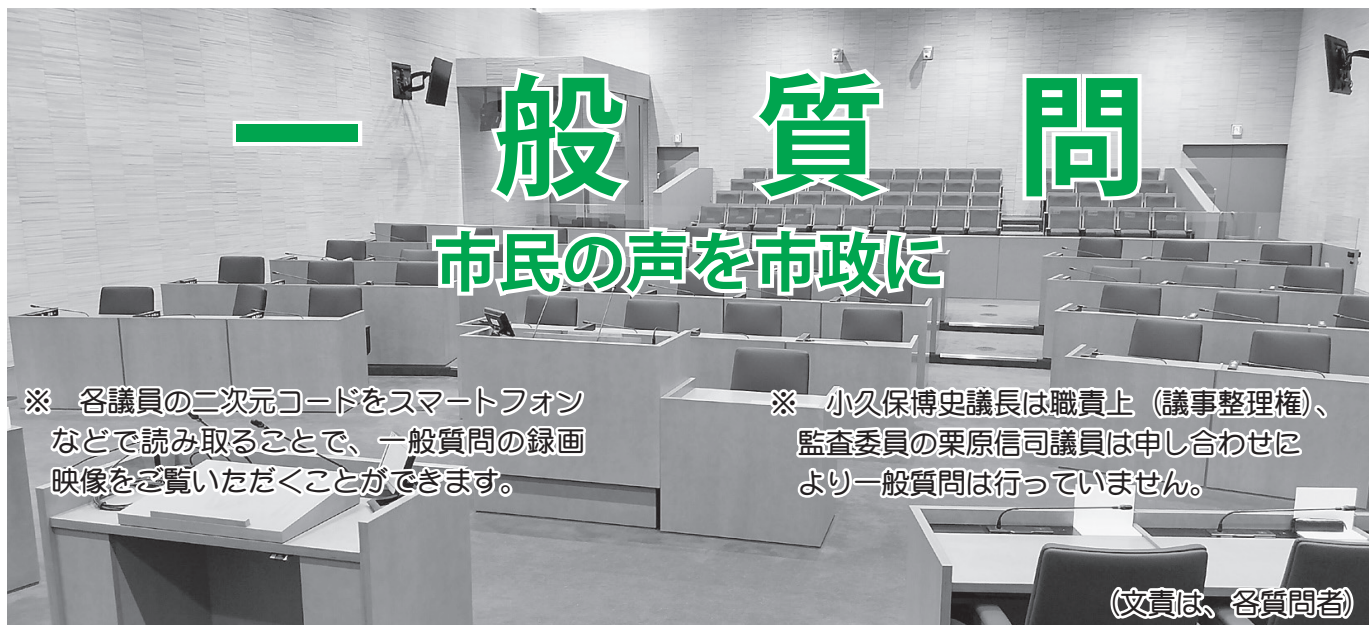
埼玉県の方針や国保運営協議会からの答申を受け、国民健康保険税率の見直しは必要であると考えています。上下水道料金については市民の皆さまに安全で安定した水道水を供給し、生活に支障なく汚水が流されるよう適切に判断していきます。公共施設マネジメントの推進に当たっては、市民の声を聞き、春日部市公共施設マネジメント基本計画の改訂も含めて、ご理解とご協力をいただきながら進めていきます。

日 本 維 新 の 会

本市を取り巻く環境の中で安心・安全の取り組みについて、ゼロカーボンシティは市長が非常に力を入れている事業だと感じますが、「ゼロカーボンシティの実現」に向けた、これまでの取り組みと令和8年度の取り組みについて伺います。

○市長

令和5年度にゼロカーボンシティ推進本部を立ち上げ、令和6年度にPPA方式による公共施設への太陽光発電設備と蓄電池の設置や、市民・事業者向けの太陽光発電設備などの補助を実施したところ。令和8年度については、引き続き、交付金を活用した事業を実施するとともに、新たに民間事業者と連携し、太陽光発電設備や再生可能エネルギー電力の共同購入事業を開始し、普及促進に取り組んでいきます。



一般質問

市民の声を市政に

※ 各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧いただくことができます。

※ 小久保博史議長は職責上（議事整理権）、監査委員の栗原信司議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に27人が登壇

住んでみたい 住み続けたい春日部に



今尾 安徳
議員



私はこれまでに、安心して暮らしていけるまちづくり、子育て支援、災害に強いまちづくりなど、さまざまな観点から質問し、提案をしてきました。

私が議員になって最も切実な問題として、多くの地域、市民の皆さんからご相談があり、議会で何度も取り上げてきた、浸水・冠水対策についてお聞きします。

本市は県内初となる1000ミリ安心プランの認定を受け、工事も今年度末で完了ということです。

そこで、現在取り組んでいる1000ミリ安心プランの現状と、中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトの検討状況について伺います。

○建設部長

本市における1000ミリ安心プランの計画期間は、平成28年度から令和7年度までとなっております。国、県、市が一

体となって事業を効果的に進めています。今年度は、大沼グラウンドから大沼第2公園までの雨水管渠施設の整備と、谷原グラウンド内の雨水貯留施設の整備を行っており、今年度末に完了する見込みとなっております。

中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトにおいては、国、県、流域市町と協議を重ねながら事業を推進しています。

また、関係自治体による勉強会も定期的に開催しており、他の自治体が実施している浸水対策の情報も共有しているところ です。

高齢者の補聴器 購入費用補助について



荒木 洋美
議員



市民の皆さまから相談をいただくのは、加齢による「聞こえ」の悩みです。「補聴器はあまりに高価で手が出ない。」と肩を落としていました。聴力の低下は単に不便であるだけでなく、社会からの孤立、さらには認知症のリスクを高める要因であることが

近年の研究から明らかになっています。

本市では令和7年7月から、加齢性難聴高齢者の補聴器購入に対して補助金を交付しています。補聴器の適切な利用により、生きがいづくりの推進および生活の支援を行っています。市民の方からは対象者を拡大してもらえないかとの要望があります。

坂戸市、鶴ヶ島市、鴻巣市では所得制限はありません。非課税世帯だけでなく認知症予防の観点からも広く対象者を拡大してもらいたいと思いますが、市の考えを伺います。

○福祉部長

補聴器は一般的に高額なものであることから、経済的に真に補助が必要とされる方を優先的に対象とするため、65歳以上の方で住民税非課税世帯、または生活保護世帯を対象としています。

対象者の拡大については、事業開始の初年度であることから、今後実績を重ねる中で、市民ニーズの把握や国、県内自治体などの動向などを踏まえ、引き続き制度の研究を行っていきたいと考えています。

このほか
○高齢者の居住支援について

公立保育所について



藤原 智子
議員



私はこれまで、登園時の荷物を減らし、保護者の負担軽減と、保育士の業務改善を目指し、二度の一般質問と視察を経て提案してきた「おむつの定額利用（サブスク）」が昨年10月、本市の公立保育所で導入されました。

導入から一定期間が経過しましたが、現在の保護者の利用状況と、併せて、おむつの持ち込みがなくなったことによる保護者の利便性向上や、管理業務が軽減された保育現場（保育士）からの評価について伺います。

○こども未来部長

本サービス開始時点における利用率は、0歳児、1歳児を合わせた平均で、おむつ57・9%、エプロン32・9%となっており、一般的なおむつのサブスクの利用率は平均40%程度であるといわれていますので、かなり高い利用率であると認識しています。

自治会のサポートについて



榛野 博
議員



利用者からは、「毎日の荷物や準備の負担が減ってありがたい。」「エプロン洗濯の手間が減り、持ち帰る汚れ物の臭いもあまり気にならなくなった。」などと好評をいただいています。また、現場の保育士からは、「食後のエプロンの拭き取りの手間がなくなった。」「荷物の入れ間違いが防げる。」などと伺っており、負担軽減の一助となっているところですよ。

このほか

○高次脳機能障害者の支援について

○学校図書館の充実について



(イメージ)

自治会活動のサポートの役割を持たせた市民センターの運用が1年以上経過しましたが、以下について伺います。

①自治会や利用者からどのような意見が寄せられているのか。また、自治会が抱える課題に対して具体的にどのような支援をするのか。②地域では自治会に参加していない、自治会自体がないということへの対策はどう考えるのか。

③本市のさまざまな部局からの委託業務が自治会の加入率低下の要因になっていると考えますが、複雑化している委託業務の窓口を市民センターに一本化する考えはあるか。

○市民生活部長

①地域づくり推進協議会において、センターを知ってもらい、積極的に活用してもらうべき、情報発信を強化していくべきとの意見があったところですよ。また、新たな自治会支援の拡充として、自治会

の総会、役員会などにおける施設使用料を、いわゆる第二公民館でも免除していきます。

②自治会未加入者に対しても公民館だよりや市公式SNSなどを活用し、各市民センターの取り組みを展開していくことで、自治会が独自に行う地域防犯、地域防災などにもより多くの地域住民に興味関心を持ってもらえるものと考えています。③今後、受付窓口の拡充を検討していく中で、自治会の負担軽減につなげていきたいと考えています。

このほか
○公共工事の調査について

災害時避難行動要支援者 避難支援制度における 個別避難計画について



平沢 一博
議員



個別避難計画は、災害時において避難行動要支援者の命を守るための極めて重要な仕組みであります。そこで、本市における災害弱者の命を守る個別避難計画の取り組み状況について伺います。

また、本市の現状を見ると、計画作成数はまだ十分とは言

えない状況です。倉敷市は、平成30年7月豪雨により甚大な被害を経験し、その教訓を踏まえ、まず担当部署で「真に支援が必要な方」を明確に整理したうえで、その方々の自宅訪問を行い、計画作成を進めているとのことですよ。

非常に実効性の高いものであり、本市でも導入すべきと考えますが、見解を伺います。

○市長公室長

この制度の登録の対象となる方は、春日部市地域防災計画に定める要件を満たす方で、対象範囲の人数は、約1万人です。避難行動要支援者の対象者となり得る人数については、社会福祉施設などに入所している人や、家族や知人の支援を受けられる人など、対象とならない人も含まれます。また、本制度における個別避難計画を市に届け出ている登録者数は、現時点で51人です。

本市においても、倉敷市の取り組みに近づけられるよう、いま一度、福祉部、健康保険部と協議を進め、人事課にも相談しながら実行していきたいと考えています。

このほか

○市立図書館について

シェアサイクルについて



奥沢 裕介
議員

昨年9月に一般質問で取り組んだシェアサイクルについて、11月1日に市内の公共施設など17箇所に、貸出・返却ができるステーションが設置され、本市におけるシェアサイクルのサービスがスタートしました。導入から3カ月が経過しましたが、どのくらいの利用があったのかお伺いします。

また、観光の分野においての活用という意味でも、もっと多くのステーションがあれば、シェアサイクルの貸し借りも容易になり、利用者も増えてくると思いますが、今後の展開をお伺いします。

○総合政策部長

シェアサイクルの利用状況は、直近の1月分までの実績で、令和7年11月が604回、12月が648回、令和8年1月が666回と推移しているところでです。

今後の展開については、庄

和地域の道の駅庄和、大風文化交流センター「ハルカイト」、龍Q館などの市内観光スポットへのステーション設置が可能になれば、来訪者を増やす意味でも非常に有効なものと考えています。

また、ステーション設置箇所が市内の各地に広がることで回遊性の向上につながるのと同時に、市民の利便性向上にもつながることが期待できると思います。

このほか

○外国人との共生について
○電子契約サービスの導入について

南桜井駅周辺の活性化について



会田 吉幸
議員

駅前地域・商店街活性化のために、市はロータリーをきれいにしたというだけではなく、駅を軸とした人が回遊する可能性づくり、駅前、その近隣にある商店街の活性化は同時進行しないと効果がないと考えます。

そこで、南桜井駅周辺を今

後どのような地域として位置付け、どのような将来像を描いているのか、市としてのビジョンを伺います。

○環境経済部長

南桜井駅周辺は庄和地域の生活交流拠点として捉えています。

今後は、単なる通過点や日常的な生活拠点だけではなく、個性的な店舗や地域資源をめぐり、わざわざ訪れる価値のある滞在型拠点として位置付け、まちの魅力を高めていきたいと考えています。

南桜井駅南口近くのスーパ―は、多くのテレビ番組や雑誌で取り上げられ、市外から多くの来街者呼び込む、注目度の高いお店です。

こうした個店の発信力、集客力は、地域にとって得がたい財産であり、商店街活性化の起爆剤となり得るポテンシャルを秘めているものと認識しています。

メディア露出という絶好のチャンス逃すことなく、来街者が地域全体を回遊し、庄和地区のファンになっていただけるような仕組みづくりを商店街や商工会と緊密に連携し、着実に取り組んでいきたいと考えています。

配偶者同行休業制度について



大里 昇
議員

魅力的な自治体であり続けるためには、自治体職員の優秀な人材の確保や育成定着への取り組みが必要なのは分かっていると思います。近年、共働き世帯が一般化する中で配偶者の転勤や海外への赴任などにより、やむを得ず離職を選択せざるを得ない状況があることも事実です。このような状況を踏まえ、職員の身分を保持したまま一定期間休業することを可能とする、「配偶者同行休業制度」を制定している自治体があることが伺っています。

そこで、以下お伺いします。

- ① 制度の趣旨について。
- ② 共働きが要因となる離職を防ぐ休業制度があるのか。
- ③ 本市では配偶者同行休業制度を制定するつもりはあるのか。

○総務部長

① 職員がやむを得ず離職することを防止し、職員の職業と

家庭生活の両立を図るものであり、地方公務員の多様な働き方を支援する観点から、国から本制度が示され、地域の実情に応じて措置されるものとされています。

② 本市においては、育児休業や部分休業、介護休業をはじめ病気休暇や特別休暇など、各種休業・休暇制度を整備しているところです。

③ 本制度については、現時点で直ちに制定する予定はありませんが、課題や今後の社会情勢なども踏まえ、制度の在り方について研究していきたいと考えています。



(イメージ)

鉄道の高架化で変わる
春日部駅周辺の
未来予想図について



水沼日出夫
議員

春日部駅周辺の未来予想図については、鉄道の高架化後の駅から中心市街地へ、中心市街地から駅への連続性や一体性などが、今後の重要な検討ポイントになっていくべきと考えます。

そこで、鉄道の高架化や駅舎づくりと一体となった都市基盤整備における、本市のまちづくり計画の方針や考え方についてお伺いします。

○都市整備部長

連続立体交差事業が進捗する中、中心市街地における都市再生整備計画の策定や官民連携まちづくり事業を効率的かつ効果的に推進するため、今年度から鉄道高架推進担当と中心市街地整備担当を併任する体制を整えました。担当を併任することにより、鉄道とまちを個別の事業として捉えるのではなく、一体的にマネジメントし、中心市街地の再生を図っていききたいと考え



春日部駅周辺の未来予想図

ています。駅前広場や道路などの周辺基盤と鉄道施設のデザインの調和については、新設される施設が単に機能的であるだけでなく、都市の顔としての象徴性と歩行者の快適性を両立させる上で大変重要であると考えています。

今後の基盤整備については、計画段階から景観デザインの専門家などの意見を取り入れ、鉄道施設と周辺空間の一体的な景観形成を推進していきたいと考えています。

このほか

○住宅街の小規模公園について

自治会の運営について



金子 進
議員

自治会の加入者数の減少は、地域コミュニティの低下につながる恐れがあります。自治会加入数が年々減少しているようですが、以下伺います。

①自治会加入率に関する過去3年間の推移と自治会加入者数の減少を食い止めるための対応について。②自治会長の受け手がいない場合、市議会議員が自治会長を兼ねることについて、法律上問題があるか。③自治会加入のメリットについて。

○民生生活部長

①各年とも3月1日時点で、令和5年が55・3%、令和6年が53・8%、令和7年が51・7%です。令和元年に自治会に加入してよかったというメリットを感じてもらいたいため、かすかべ自治会カード事業を開始し、自治会への加入促進に努めているところです。②地方自治法において禁止はされていませんが、自治会が

市と請負関係にある場合、兼業の禁止に該当する恐れがあり、兼ねることは避けたほうがよいとされています。

○市長

③災害時の共助が考えられませんが、災害直後、最も頼りになるのは、ご近所や仲間同士の助け合いです。自治会では、災害が発生した際に迅速に対応できるよう日頃から訓練を行っており、防犯面においても市民の皆さまが安心して日々の暮らしを送るために役割を担っていただいています。

このほか

○職員の給与等について

デジタル地域通貨について



木村 圭一
議員

昨年から春日部市デジタル地域通貨支援事業として「ふじちゃんカード」の電子化が実施され、市内の店舗で利用できるデジタル地域通貨が始まりましたが、登録者数に対して利用店舗数が少ないように感じます。

そこで、以下お伺いします。

①今後どのように利用店舗の拡充を図るのか。②マイナンバーカードにひも付けすることでさまざまな福祉サービスや生活支援などの助成金配布にもつなげられないものか。③市長は、今後どのようにリーダーシップを発揮していくのか。

○環境経済部長

①金融機関や商工団体など関係機関と連携し、事業者への周知や加盟促進と制度のメリットを発信強化し、より多くの店舗に参加してもらえよう取り組んでいます。

②既に基盤が整っているふじちゃんポイントの仕組みを生かしながら、地域経済活性化の取り組みを進めていきます。

○市長

③運営事業者をはじめ金融機関や商工団体などと連携を図りながら、加盟店の拡大を後押しする取り組みやポイント付与キャンペーンの実施支援、公共施設での利活用の検討など、市民の皆さまがより利用しやすい環境づくりを進めながら、利用者拡大につなげていきたいと考えています。

このほか

○防犯対策について

○ユースカウンシルについて

一ノ割地域を 安全で暮らしやすく



木下三枝子
議員

一ノ割地域の住民が求める声として、駅西口改札の請願採択後の検討状況と東口ロータリーの活用について、また、安全な通行の確保のための駅前市道の整備方針と維持管理について市の認識を伺います。

次に、これまでも要望した一ノ割公園付近交差点の信号機設置については、交通量や通学路要件が基準を満たさず警察判断として設置は困難とされました。しかし、交通事故の発生や危険な実態を踏まえて信号機に変わる実効性ある安全対策が必要であり、速度抑制や横断する歩行者の視認性向上など、安全対策の早急な実施をお願いしたい。

○都市整備部次長
駅周辺における利便性の向上を図るには西口に改札を設置することが効果的であると考えています。東口のロータリーを含み、今後も駅周辺地域については、社会環境の変

化を見極め、検討をしていきたいと考えています。

○建設部長

開発などの際に道路拡幅などの協力をいただき、安全性の確保に取り組んでいます。緊急を要する小規模な修繕には、職員が現地対応をしており、今後も地域の方々のご意見を伺いながら、道路の安全性の確保に努めます。

○市民生活部長

今後は、交差点付近にスピード抑制看板の設置を予定しています。

このほか

民間業務委託の 適正化について



並木 敏恵
議員

市内の四つの公共施設の清掃を委託している「クリンクル」について、業務が適正に行われているか、伺います。

働いている方たちから、給与が払われない、掃除機は、家庭用の一台しかない、洗剤やトイレトイレットペーパーが不足で、一部のトイレは、使用禁

止してもらったなどの訴えが寄せられています。

○総務部長

適切に業務が遂行できているとは思えません。契約不履行で、契約を解除すべきと思いますが、市の対応を伺います。

○総務部長

当該受注者に委託している公共施設において、契約内容に基づき、適正な履行が確保されるよう、指導・監督を行っています。業務の一部に不適切な履行が確認された事項については、必要は正措置を講じています。契約当初は仕様書どおりに適切に履行されていましたが、その後、業務の一部に不適切な履行が確認されたため、厳重注意し、是正の指導を行いました。また、改善が見られない場合は、委託料の減額措置を講ずる旨の通知をしています。

本件に限らず指示や催告に従わない場合には、契約条項に基づき、契約解除などを含め、適宜検討していくものです。

このほか

○小中学校の女子トイレに生理用品の設置を

○ゆつく武里は子育て支援と高齢者が集える憩いの場に

SDGs 未来都市について



鬼丸 裕史
議員

SDGs 未来都市は、内閣府によって選定されるもので、本市は令和2年7月に選定され、現在は第2期SDGs 未来都市計画の期間中です。

そこで、以下お伺いします。

が、達成度208%です。その他の指標も含めて、全体としておおむね順調に進んでいるところですが。

○第3期SDGs 未来都市計画は現行の計画から、春日部市ゼロカーボンシティ推進本部を設置したことやPPA方式による公共施設への太陽光発電設備等の設置など、脱炭素の新たな取り組み内容を記載したところです。

このほか

○アイル・アリーナ ウイング・ハット春日部（春日部市総合体育館）周辺整備について

- ① 武里団地での取り組み内容について。
- ② 現計画の進捗状況。
- ③ 第3期SDGs 未来都市計画について。

○総合政策部長

① 第2期末未来都市計画に位置付けたフレイル予防関連事業を展開しており、高齢者が住み慣れた地域で活躍しながら暮らし続けられるよう取り組みを推進しているところです。

② 計画期間中に進める自治体SDGsの推進に資する取り組みにおける令和6年度の達成度について、主なものとして、人が行き交うにぎわいの創出の指標が、達成度110.8%。また、環境に配慮し、自然と共生する暮らしの指標



SDGs 未来都市かすかべ

**ま
客
引
る
置
き
が
急
務
員
街**



酒谷 和秀
議員



夜の春日部駅西口交差点付近は、まるで売春街のような異様な雰囲気になっています。アジア系の外国人女性たちが、ここを通る男性に手当たり次第、いやらしさを前面に出したマッサージュの客引きを行っています。

この付近では過去に売春や違法風俗の営業をしたとして中国籍の女性が逮捕される事件が発生しています。驚くべきことに、このような状況は、もう20年以上も続いています。

しかし、本市はこの状況をずっと放置したままです。

他の自治体は繁華街に客引き監視員を設置して街の治安を守っています。

なぜ本市は、この問題を放置してきたのですか。

○市民生活部長

執拗な客引き行為については、市民の皆さまに不快な思いを抱かせてしまう場合もある

るかと考えています。

これまでの取り組みとして、市や春日部警察署による夜間パトロールや警察による取り締まりなど、必要に応じて対応を行ってきました。

また、監視員による客引きパトロールを業務委託により、昨年11月18日から12月23日までの間で31日実施したところです。



客引き監視員（イメージ）

**中
心
市
街
地
ま
ち
づ
く
り
に
つ
い
て**



伊藤 一洋
議員



本市の中心市街地は、歴史文化、商業、交通の拠点であり、本市の「まちの顔」として市全体の魅力や活力を左右する重要なエリアとなっています。

現在、本市では駅周辺の整備が進められていますが、単なるハード整備にとどまらず、エリア全体の価値を高める総合的なまちづくりが必要と考えます。

そこで、本市の中心市街地におけるまちづくりの現状、課題、また解決策について伺います。

○都市整備部参事

春日部駅周辺は、鉄道が市街地を分断し、開かずの踏切などにより慢性的な渋滞が発生するなど、中心市街地の発展に支障が生じている状況です。

また、大型店の撤退や空き店舗の増加、低未利用地の拡大など、活力の低下も課題で

あると認識しています。

こうした課題に対し、現在、鉄道の高架化による踏切の除却と関連する都市基盤整備を進め、東西市街地の一体化と交通の円滑化に取り組んでいるところ です。

さらに、今後は、これら物理的な基盤整備に加え、エリアプラットフォームを主体とした官民連携のまちづくりを推進し、魅力とにぎわいにあふれた中心市街地の形成に取り組んでいきたいと考えています。

このほか

○部活動の地域展開について
移動手段は人権、春バス庄和南線の復活を



大野とし子
議員



春バス第四次運行で庄和南線は廃止されました。理由は乗降数が少なく、公費負担率が高いので、持続可能な運行にするためとのこと。庄和南線の乗降数は1日平均58人で、公費負担率は87%で、市の基準85%より少し高い状況でした。現在運行している

庄和地区ルートは日曜日を除く毎日運行、往復10便の運行で一日平均乗降数134人、公費負担率は73%です。

庄和地区ルートの乗降数が伸びたのは、利便性を向上させたからだと考えます。庄和南線は、コンサルタントも運行を工夫し、継続を提案しました。利便性を向上させ、庄和南線を継続するという検討はなかったのでしょうか。また、市は公費負担率が高いことを理由にあげますが、国や県も多くの補助メニューを提案しています。市の役割は、国の財源なども活用し、移動手段を確保することだと考えますが、市の考えを伺います。

○都市整備部長

庄和地区南ルートについては、庁内および地域公共交通活性化協議会における検討の結果、廃止と判断されたものです。春バスの持続可能な運営には、公費負担の増大を避けつつ、効率的なルートやダイヤ設定を通じて利便性を向上させ、利用者の増加を図る取り組みが不可欠と考えています。

このほか

○食べることは生きること、庄和地域も自校給食に

上野長宮線の 開通について



河井 美久
議員

上野長宮線は、令和8年1月24日に、私たちの悲願でもある、春日部区間、約430メートルが完成し、さいたま市岩槻区と本市をつなぐ、全長、約4・1キロメートルが全線開通しました。このたびは、昭和41年の都市計画決定以来、地元の皆さまのご理解とご協力、そして、埼玉県や市執行部をはじめ、我々の一丸となった、これまでの取り組みが、ようやく実を結んだものであると感じています。

そこで、上野長宮線の事業概要と経緯について、お伺いします。

○建設部長

上野長宮線は、主要地方道野田岩槻線のバイパス道路として、円滑な都市交通の処理と市街地の健全な発展を目的に、旧岩槻市の古ヶ場を起点として、本市増戸地内の国道16号を終点とする、延長約4

110メートル、幅員18メートルの道路です。

埼玉県により平成5年度に事業が開始され、平成23年12月にさいたま市区間の道路整備が完了しました。

本市側については、平成25年に延長約430メートルの路線測量、平成27年度に埼玉県警察との交通協議が実施されました。

平成30年度には都市計画事業の認可の取得をし、その後は、令和元年度より用地取得に着手し、令和3年度から工事が開始され、本年1月24日に開通したものです。

クレヨンしんちゃんについて



阿部 雅一
議員

本市は「クレヨンしんちゃん」を市の魅力として、これまでもさまざまな取り組みを進めてきました。

本年度は春日部市市政施行20周年という節目の年であり「クレヨンしんちゃん」に積極的に活躍してもらったさまざまな事業の展開に目を見張るものがあつたと感じたところ

るものがあつたと感じたところ

こうした取り組みは、本市の認知度向上やにぎわい創出さらには交流人口の拡大に相当貢献していることと存じますが、改めて今年度の「クレヨンしんちゃん」に活躍してもらった事業の内容について伺います。

4月に開催した春日部藤まつりでは、クレヨンしんちゃん野原一家がパレードに参加し、ステージ出演を行いました。

○総合政策部長

7月に正和工業にじいろホール大ホールで実施した、子ども音楽祭では、野原しんのすけくんが出演し、市内のオーケストラの演奏に合わせて、子どもたちが一緒にダンスを踊るなど、夏休みの思い出の場となったものと思います。

8月には、市役所ひだまりホールで、クレヨンしんちゃん絵はがきイラスト展示を1週間開催し、連日市内外から多くの方々に来場いただきました。

このほか
○北春日部周辺のまちづくりについて
○ふるさと納税について

交通空白地域への 対応について



中村 貴彰
議員

市内にはバスが通らない地域や、バス停まで遠く、買い物や通院のたびに長い道のりを歩かざるを得ない高齢者がいます。タクシーも来ない日があり、来ても治療費より高く利用できない方もいます。

ある方は、スーパードライブ2・8キロ、帰りは足の痛み

に耐え、涙をこらえて自宅を目指すという実態があります。

春タクの支援もありますが、予約がとりにくく、運転手不足も課題です。生活の自由や安全に直結するこの問題は、交通にとどまらず、福祉や医療、財政など、多部署の連携が不可欠です。

困っている方の声を最優先に、行政が一体となって行動する事が、安心と尊厳を守る第一歩です。このままでは、移動できないことが生活の制約となり、外出を諦めてしまう方が増えてしまいます。

今後、交通空白地域への対応を研究テーマとして取り上げる考えはあるか伺います。

○総合政策部長

令和8年度の研究テーマは、令和7年度に引き続き、武里団地における課題の研究について取り組みを進めていきます。令和9年度以降については、その時点における課題を把握し、研究テーマを決めていく予定です。

このほか

○農業振興について

子育て世帯を支える地域生活支援と相談体制の充実について



市内の交通空白地域

高齢者の生きがいづくりと
介護保険制度について



山崎 進
議員



少子高齢化が進んでいる現在、本市の高齢化率は令和22年には36・7%が予想されています。高齢者世帯、単身高齢者世帯が増えて、介護保険制度の利用者も増えてくることから、さらなる対策が必要だと考えます。

そこで、以下伺います。
①介護保険制度が始まった背景や、目的について。②介護老人保健施設は3カ月ごとに移らなければいけないのか。③高齢者が地域社会において孤立防止や生きがいの創出につながる居場所とこの創出にどのような場所があるのか。

○健康保険部長

①平均寿命の伸長、核家族化の進行などを背景に、介護を家族のみの負担とするのではなく、社会全体で支え合う仕組みとして創設されました。

②一般的に3カ月から6カ月の間に判定会議が開催され、総合的に退所の可否を判断し

ています。そのため、3カ月という説明がされることがありますが、退所はあくまで個別の状況に応じて検討されるものです。

○福祉部長

③健康づくりや生きがいづくりの活動を行う、いきいきクラブ、高齢者の方が憩い、楽しめる居場所としての高齢者福祉施設、これらのほかにも春日部市社会福祉協議会において、いきいきサロンなど地域のつながりを生かした居場所づくりを推進しています。

このほか

○地域コミュニティについて



★(イメージ)

更なる充実した
教育環境を目指して
(教育は未来への投資)



石川 友和
議員



①学校において公費と私費の区分の明文化について、進捗を伺います。

②さいたま市では、学校に対する寄付(消耗品含む)は全てホームページ上に公開されている。本市も歯止めの意味も含めて公表するべきと考えますが、見解を伺います。

③国からの支援で小学校給食費無償化に係る市としての持ち出しは約9000万円抑えられるということですが、その予算で教育に関するソフト面(おあしすルーム)の予算額を伺います。

④学校備品に該当するようなものをPTAからの卒業記念品として購入するのはいかがなものかと思いますが、市の認識を伺います。

○学務指導担当部長

①現在、教育委員会では公費と私費の負担区分を明確にしたガイドラインの策定を進めています。

②本市では、PTAなどの団体からの寄付などは、公会計とは異なる私会計であると捉えており、現状は、市や教育委員会がその詳細を一律に公表する対象にはならないものと認識しています。

③3校分の支援員の報酬で約170万円です。

○学校教育部長

④よりよい教育環境の充実を図るためであれば、学校と関係団体との間で十分に理解を共有した上で実施することが前提となりますが、私費による物品などの受け入れを妨げるものではありません。

中学を含めた
学校給食費の無償化を



古沢 耕作
議員



長引く物価高騰を受け、市は国からの交付金を活用して、令和8年度の小学校の給食費を一年間無償、そして、中学校は半年間無償化することを決めました。

私は市の自主財源により、中学校もあと半年分(正確には5カ月分)を支援し、学校

給食の一年間、完全無償化を実施するべきと考えます。それを踏まえて、以下伺います。

①中学校の給食費のあと半年分を市が独自に支援し一年間の無償化を実施する場合、費用はどれくらい掛かりますか。

②令和8年度の市税収入の見込みを、市は昨年比で約16億7千万増えると予想しており、また、市の貯金である財政調整基金も、昨年比で約8億円増える見込みです。

もともと、学校給食の無償化は、市長の公約でもあります。物価高で苦しむ子育て世帯を応援するため、中学校も含めた給食無償化の実施について、市長に伺います。

○学務指導担当部長

①約1億800万円が追加で必要な額となります。

○市長

②本来、給食費の支援は、地域間格差が生じないように、国が実施すべきと考えます。

議員ご提案の中学校の5カ月分の無償化については、物価高騰の状況や、有利な財源の確保などの状況に基づき、その必要性を検討していきます。

このほか

○こども誰でも通園制度について

執行権者たる市長の
政治倫理と選挙との
関係性について



永田 飛鳳
議員

市民の方から、市長ご自身が特定の候補者に、次の市議会議員選挙への立候補を進めているという話を耳にしています。

地方自治体は二元代表制によつて運営されています。

議会は、市長の応援団でも、同じ組織の仲間でもありません。議会は、市民の代表として執行機関を監視し、市政運営をチェックする独立した機関です。

その前提に立ちお聞きします。

執行権者である市長が、議会を構成する議員の選挙に関与することは、二元代表制の趣旨に照らして適切であるとお考えでしょうか。

この行動について、市長はどのようなお考えで行動されているのか伺います。

○市長

私からお誘いを受けた方がいるということですが、私も

多くの友人がおり、また後輩などもおり、多くの方から出馬に当たつての疑問や質問を受けており、それについてお答えはしているところです。

また、立候補の判断というのは、ご自身が行っていると考えています。



(イメージ)

春日部市の責任について？
結果責任の限界と
説明責任



山口 剛一
議員

本市が直面している財政構造、公共施設の老朽化、人口減少、地域コミュニティの希薄化。これらは、過去のある時点における意思決定の積み重ねが時を経て、現在の市政運営に大きな影響を与えています。

しかし、市政運営において、過去の政策判断が現在に負の影響を及ぼした場合、市長、副市長、職員、市議会議員の「結果責任」が問われることは制度上ないと思います。従つて、果たし得る責任は説明責任です。

市長、副市長および教育長は任期中のみならず、長期的な都市経営の視点から、意思決定の説明責任をどう果たすべきと考えますか。

○市長・副市長

市政については総合振興計画に基づき施策を進め、目標値を示し、その進捗状況、達成度について、市民の皆さまや市民の代表である市議会に示し、理解をいただくよう努めているところです。

○教育長

教育委員会は独立した執行機関ですが、市の組織の一部であり、総合振興計画に基づき施策を推進しています。従つて、計画の目標値を示し、その進捗状況や達成度を市民の皆さまや市民の代表である市議会に示し、理解をいただくよう努めているところです。

このほか

○市のお金に関する責任は誰にある？～中長期財政計画の必要性～

市立医療センターの
経営強化に向けた
新たな取り組みについて



吉田 稔
議員

物価高騰や人件費高騰などのおおきい影響を受け、厳しい経営状況の市立医療センター。

そこで、令和6年12月の一般質問以降の対応について、以下伺います。

①令和7年度に行つた経営強化の取り組みについて。

②経営・財務マネジメント強化事業のアドバイスについて。

○病院事務部長

①令和7年度における取り組みは、経営基盤の強化を図る観点から新規加算の取得などを進めてきたところです。

具体的には、医師事務作業補助体制加算を上位区分の算定に変更したことや、夜勤時間帯における看護補助者の確保による急性期看護補助体制加算の算定を開始したこと、緩和ケア病棟における受け入れ態勢整備による新たな加算の取得などを行っています。

このような加算区分の見直しなどを行ったことにより、

月当たりで約2000万円程度の増収につながっています。

②アドバイスの内容は、さらなる医療収益の確保に向け、急性期医療体制の充実を図り、総合入院体制加算の早期取得や、看護の専門性の向上を図る観点から、認定看護師の育成を進めること、また、病床利用率の向上を図るため、より効率的なベッドコントロールを実施することが重要であるとの助言をいただいています。

このほか

○道の駅のリニューアル～防災道の駅へ～



市立医療センター

おあしすルームの
設置校を増やそう



鈴木 一利
議員



本市では小学校3校に校内教育支援センター・おあしすルームを昨年度からモデル校として設置しています。

そこで、①おあしすルーム設置の経緯と現在までの効果を伺います。

また義務教育の時代においては、その学ぶ場、ふれあう場の創出においての学びなどは、社会に出た時には大きな力になっていくと思っております。その意味では、本市の小学校に設置したおあしすルームは、とても重要であると思っておりますし、拡充は必須だと考えています。

そこで、②おあしすルームの拡充を含め、今後の不登校対策について、教育長の考えを伺います。

○学務指導担当部長

①設置の経緯は、中学校のさわやか相談室のような場所が小学校にも必要であると検討していたところ、文部科学省

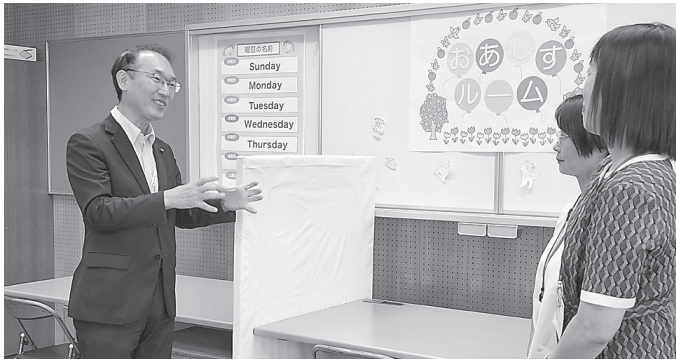
が、市町村に対し、校内教育支援センターの設置促進を求めました。効果については、学校から「おあしすルームができたおかげで学校に来られるようになった。」などの評価をいただいています。

○教育長

②拡充は、重点施策の一つと考えています。教育相談センターを中心として、一人でも多くの児童生徒の社会的自立と保護者の支援にしっかりと取り組んでいきます。

このほか

○ねんりんピック埼玉大会を盛り上げよう！



おあしすルーム

傍聴して一言

傍聴に年配の方が多い印象なのでもっと現役世代の人たちにも傍聴に来てほしいです。議会は難しいイメージですが、地域に根ざしてイメージしやすい話しも多いので市内の小中学生の社会科見学に使ってもいいと思います。
女性・35歳

今定例会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程	今定例会傍聴状況														
			2/16	24	25	26	27	3/2	4	5	9	10	12				
2/16	7	上程・説明	5	1	5	4	11	9	9	40	13	75	51	32	10	19	272
			代表質問	質疑	質疑	質疑	質疑	委員会	委員会	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	討論・採決		

久しぶりに傍聴しました。昔はいなかった女性部長が答弁に立ち、堂々と答えている姿に応援したくなりました。
女性・71歳

傍聴の人数がもっと増えて、市が抱える問題をわが事として考える社会を持つ人が増えればと願っています。
答弁の内容に歯がゆいものもありましたが、議員さんも行政側も真剣に向き合っていて、いい意味での緊張を感じました。
女性・78歳

※割愛させていただいた部分もあります。

閉会中の委員会活動

- ▽議会運営委員会
1月22日
・令和8年第1回（1月）臨時会の運営について
- 1月27日
・令和8年第1回（1月）臨時会の運営について
- 2月10日
・令和8年3月定例会の運営について
- ▽議会改革検討特別委員会
1月30日
・デジタル化とペーパーレス化について

- ・議会報告会について
- ・議会基本条例に関するルール集について
- ・服装について
- ▽広報広聴委員会
3月25日
・議会だより第83号について
- 4月6日
・議会だより第83号について
- ▽図書室運営委員会
4月6日
・令和7年度図書費決算について
- ・令和8年度図書費予算(案)について

かすかべ議会だより
改選臨時号発行のお知らせ

4月19日の市議会議員選挙で選出された30人の新議員を紹介する「かすかべ議会だより改選臨時号」を、6月1日発行の広報かすかべ6月号と同時配布いたします。ぜひご覧ください。

意見交換会
(議会報告会)を
開催しました

市議会では開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しています。

若い世代にも議会の活動や市の政策を知っていただくための重要な場と考え、令和7年12月19日から12月25日に春日部東高等学校、春日部共栄高等学校、庄和高等学校、春日部高等学校の生徒さんをお招きし、開催しました。

各校とも、本市に関するテーマを決めていただき、議員との活発な意見交換を行いました。

お忙しい中、ご参加いただきました生徒さん、学校関係者の皆さまには、貴重なご意見やご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。なお、市議会ホームページでは、アンケートの集計結果などを掲載していますので、ご覧ください。

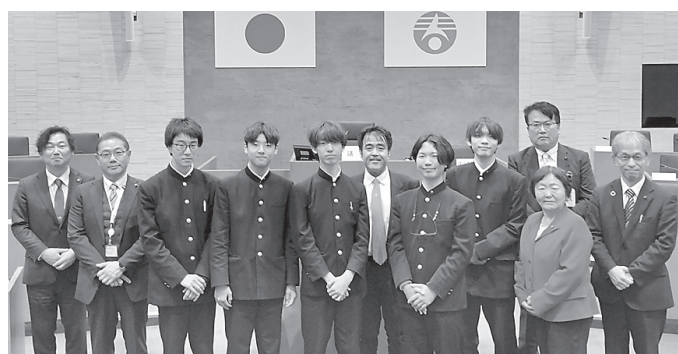
詳しい内容は
こちらから



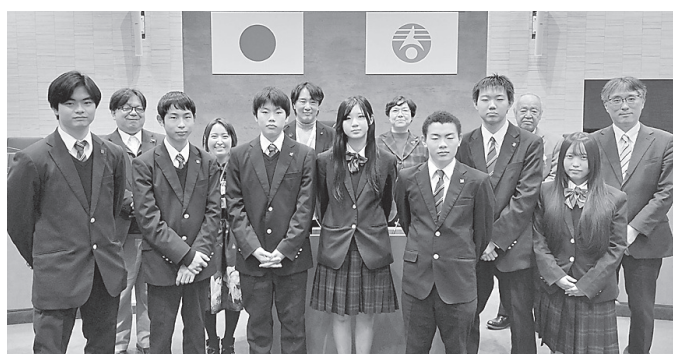
春日部共栄高等学校 令和7年12月23日開催



春日部東高等学校 令和7年12月19日開催



春日部高等学校 令和7年12月25日開催



庄和高等学校 令和7年12月24日開催

編集後記

今回の議会だよりは表紙デザインが変わりました。

議会活動を市民の皆さまに気軽にお読みいただけるよう、委員会写真の撮影から選定まで「春日部の好きなどころ」というテーマで制作しました。今後も皆さまからのご意見を取り入れ、魅力的な議会だよりを目指していきます。3月定例会では市長の施政方針が示され、まちづくりを推進していく基本方針について、代表質問が行われました。

令和8年度は請願で採択された、学校給食費の無償化が小学校で実施されます。市議会は一丸となって本市の施策を進めていきます。

一般質問では、自治会や高齢者、子育て支援について、市民の皆さまの切実な要望を踏まえて行われました。

また、今号は現メンバーでお届けする最後の議会だよりとなります。

これまでのご愛読ありがとうございます。

最後に、編集にご協力いただいた皆さまに心から感謝を申し上げます。



広報広聴委員会

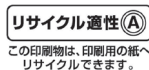
- | | |
|--------|-------|
| 委員長 | 会田 吉幸 |
| 副委員長 | 木下三枝子 |
| 委員 | 山口 剛一 |
| 委員 | 平沢 一博 |
| 委員 | 伊藤 一洋 |
| 委員 | 中村 貴彰 |
| 委員 | 藤原 智子 |
| 委員 | 大里 昇 |
| オブザーバー | |
| 議長 | 小久保博史 |
| 副議長 | 石川 友和 |

〒344-8577

埼玉県春日部市中央七丁目2番地1

春日部市議会

TEL 048-796-8395



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。